

# 闘春

元旦

2015年1月



## みんなで団結し運動の前進を

### 上石執行委員長



組合員、そして御家族の皆様、明けましておめでとうございます。年末は大雪と急な総選挙で大変な12月でした。

選挙の結果は、自民、公明が改選前の勢力を維持し、野党側の民主党は、増となったものの海江田代表が落選、そんな中、自民党との対決を前面に打出した共産党が8から21に躍進しました。

これまでも言われていますが、25%（絶対得票率）に満たない得票で75%の議席を占めてしまう小選挙区制は死票が多く、とても民意が反映しているとは言えず大きな問題点を抱えています。

大企業の「おこぼれ」を待つアベノミクスを始め、安倍自民党の政策は本当に国民から支持されていたのでしょうか？

自民党とキッチリ対決できない野党、特に一度は政権を取った民主党は、信頼回復ができず。自ら平和党と言って来た公明党は、軽減税率も10%にあがる時に8%すえおき、その品目すら明示できない、ただ自民党にすり寄るだけで、その責任は重大です。

憲法改正・集団的自衛権・消費税・原発再稼働・震災復興・労働法制とあげたらきりが無い程、課題は山積しています。引き続き「安倍内閣打倒」であらゆる勢力と連携し運動強化していきます。

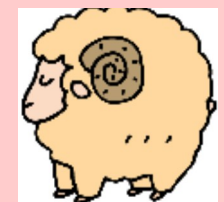
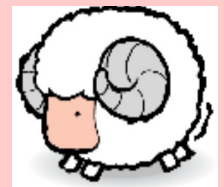
私達、新潟地方本部の課題も多く、とりわけ組織拡大は、何とかしないとエルダーも含め100名を割ってしまいます。いきなり拡大の実績を求めてもなかなか難しいので、まず分会活動をきちんとやる体制を作り、そして職場の労働条件の問題を始め、国労が積極的に発言し人数は少なくとも要求で団結し、国労の存在感を高めていくことが重要です。

12月から大雪でダイヤが乱れ除雪等作業変更が多くなっていると思います。今の職場は、自民党と同じで現場長や管理者の言いなりで「責任組合」はモノが言えない状況になっています。私達国労の踏張り時です。合理化・出向拡大の繰り返しでは絶対に安全は守れません。現場の状況に合せ、安全の確保、労働条件の改善に積極的に取り組みましょう。

3月14日の北陸新幹線金沢開業に合せ、ダイヤ（改正含む）も発表されました。直江津地区を始め現業機関の再編成により大きな異動もあると思いますが、地方本部は支部、分会と連絡を密に対応していきます。

新潟地方本部の飛躍の年にするため、みんなで運動を作り、団結して前進して行きましょう。

NO. 835  
発行  
2015年  
1月1日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
上石 昌彦  
編集責任者  
教 宣 部



## 国鉄労働組合新潟地方本部 執行委員会 一同

# 2014年をふりかえって



春闘総決起集会 3月



ダンブトラックパレード 4月



ありあけフェスタ 8月



地本定期大会 9月

地本ゴルフ大会



エリアマラソン大会



JAL闘争支援  
キャラバン行動



地本退職者激励会